

高木樹の導入について

グリーンポケット工法をモルタル・コンクリート吹付と併用する場合、植物の生長によりクラックの発生など、吹付層を損傷する危険性があるため、低木樹を標準としています。しかし、勾配が緩やかなのり面で、厚層基材と併用する場合は、植物の根の緊博によりのり面が安定するため、中・高木樹の導入が可能です。

植栽時は、50cm程度の苗木を使用することで播种植物の被圧を受けにくくなります。植栽の方法としては、下記①～③などが可能です。

- ① 植栽孔パイプを設置し、植栽する方法。
- ② 客土袋に直接植栽し、苗木をビニール袋等で保護して厚層基材を吹付ける方法。
- ③ 最初に厚層基材吹付を施工し、植え穴を掘って植栽する方法。

※当工法では、植栽工（コンテナ苗）を標準としていますが、実生からの導入も可能です。しかし、発芽率、活着率に左右され希望する植物が安定して生育しにくい場合もあります。